

# ICLSとは？

医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「**突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生**」を習得することを目標としています。講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

日本救急医学会では、一定の基準を満たしたコースに対して「**コース認定**」を行っています。コースの指導者を養成するためのワークショップ開催や、指導者の学会認定も行っています。

当院のコースは「日本救急医学会認定コース」です

本コースは日本救急医学会  
認定ICLSコースであることを証する  
コース認定番号 2414220

2024年 6 月 29 日  
一般社団法人 日本救急医学会  
代表理事 大友 康裕

# ICLSの名称について

「ICLS」とは「**Immediate Cardiac Life Support**」の頭文字を取った略語です。突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきか、というコースの学習目標を端的に示しています。

**心停止**はどの医療機関のどの部署においても起こりうるもので、いったん発生すれば蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。まさに「**Immediate**（すぐに、間髪をおかない）」な処置が必要となるのです。心停止直後の処置には、あらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。

ICLSコースでは、あらゆる医療者が身につけておくべき、蘇生の基本的事項を習得できるようにしています。

# ICLSコースの内容

## コースの一般目標

- 突然の心停止に対して最初の10分間の適切なチーム蘇生を習得する

## コースの行動目標

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS（一次救命処置）に習熟する
- AED（自動体外式除細動器）を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を評価・判断できる
- 電気ショックの適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行うことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行うことができる



# ICLSコースの対象

あらゆる医療従事者が対象になります。

これまで、医師、看護師、救急救命士だけではなく、歯科医師、臨床検査技師、医学部学生など様々な医療従事者が受講しています。

